

未成年の方が、保護者を同伴せずに予防接種を受ける際には必ずご持参ください。
お持ちいただけない場合には接種を受けることはできません。

予 防 接 種 同 意 書

トラベルクリニック新横浜 院長 古賀才博 殿

私は『[予防接種の効果と副反応について](#)』を読み、内容について十分に理解しました。
よって接種者の保護者として、下記接種者がワクチンを接種することに同意致します。

接種者名 _____
保護者署名 _____
記入日 _____年 _____月 _____日

『予防接種の効果と副反応について』

予防接種を受けることでその病気に対する免疫がつくられ発症あるいは重症化を予防することができます。また多くの方が予防接種を受けることで感染症の蔓延化を防ぐこともできます。

●ワクチンの種類と対象となる疾患

不活化ワクチン

病原体となるウイルスや細菌の感染する能力を失わせたものを原材料として作られます。

A型肝炎・B型肝炎・狂犬病・日本脳炎・不活化ポリオ・ダニ媒介性脳炎・腸チフス・経口コレラ
3種混合（DPT/Tdap）・4種混合（DPT-IPV）・髄膜炎菌性髄膜炎・インフルエンザ

トキソイド

病原体となる細菌が作る毒素だけを取り出し、毒性をなくして作られます。

破傷風

生ワクチン

病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて病原体をなくしたものを原材料として作られます。

麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・MR（麻疹・風疹）・MMR（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎）

●副反応について

予防接種は感染や重症化、感染の蔓延を防ぐのに重要なものですがまれに健康被害の発生がみられます。

接種後の発熱、接種部位の発赤・腫脹・痛みなどの軽症なものから、脳炎や神経障害などの重大な副反応に至るものまであります。生ワクチンは接種後に病気にかかったような症状がでることもあります。

万が一、重篤な副反応があった場合の救済制度について

日本で承認されているワクチンの場合には国の保証制度の対象となります。輸入ワクチンの場合にはその制度の対象外ですが、輸入業者が保証制度を設けています。

また、アレルギー反応については接種後短時間でみられる症状のため、当院では接種後 15 分ほど待合室にて経過観察させていただきます。

●予防接種を受けることができない方

- 1 明らかに発熱（37.5 度以上）している方
- 2 重い急性疾患にかかっている方
- 3 予防接種でアナフィラキシーショックを起こしたことがある方
- 4 妊娠中の方（生ワクチンのみ）
- 5 その他、医師が予防接種を行うことを不相当と判断した方

持病のある方は診察時に医師にご相談ください。